

岩手県初！宮古港フェリー定期航路開設 ～広域交流・物流の拠点化による復興加速化～

本日、国内外で海運事業を行っている川崎近海汽船株式会社より、宮古港と室蘭港を結ぶ新たなフェリー定期航路の開設が発表されました。

宮古港は東日本大震災で甚大な被害を受けましたが、震災から2年後の平成25年5月には主要な港湾施設が復旧し、岩手県沿岸の復旧・復興を支える物流拠点として利用されています。また、三陸地域では三陸沿岸道路や宮古盛岡横断道路の整備が急ピッチで進み、今後、岩手県内各地や宮城県仙台地区、首都圏へのアクセスが向上します。

このフェリー航路開設は、北海道と東北、首都圏間の交流・物流を活性化させ、東北の復興を強く後押しするものと考えられます。また、地域経済の拠点として発展してきた宮古港は、広域的な交流・物流の玄関口として、その経済効果を東北各地に波及させる拠点として更なる発展が期待されます。

本航路開設は、港湾と道路のストック効果発現の好事例であり、東北地方整備局としましては、同航路の利便性向上を通じ東北地域の更なる発展につなげていけるよう、県・市と共に官民連携の取り組みを推進して参ります。

■宮古港～室蘭港航路の概要

○航路開設時期：2018年6月（予定）

○運航計画：1日1往復ダイヤ
宮古 8時00分発 → 室蘭 18時00分着
室蘭 20時00分発 → 宮古 6時00分着

- 航路選定理由：①整備が進められている三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路の早期開通により、宮古港から岩手県各地、仙台、首都圏等へのアクセスが向上。
②トラック事業者からドライバーがフェリー乗船中に十分な休息がとれるよう10時間で結ぶ新たな航路開設の要望あり。宮古港～室蘭港は航海時間が10時間、1日1往復が可能な最適航路。
③宮古港、室蘭港とも近隣に国立公園など観光資源が非常に豊富で旅客需要が期待。

【発表記者会】

宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、岩手県政記者会

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 港湾物流企画室 盛田 貴仁
〒980-8602 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1
TEL：022-716-0005